

アドボカシーのためのネットワーク

ソーシャルネットワークを活用してアドボカシー・啓発活動を促進する方法を学びます。オンラインコンテンツを作成して、自分が関心を持っている活動の情報を広める方法についても学びます。

アドボカシーのためのヒューマンソーシャルネットワークの利用

パート1

以下の内容を伝えます。

「何を知っているかではなく、誰を知っているかだ」という有名な言葉があります。もちろん、何を知っているか、はとても重要なので、この言葉が100%正しいとは言えませんが、ネットワークの重要性を思い出させてくれる言葉です。

就職活動中でも、1つ上のレベルでスポーツを楽しもうとしている場合でも、良好なネットワークを持つことで、自分の目標達成を手助けしてくれるつながりを構築できます。アドボカシー活動も同じです。知っている人のネットワークが、大きく良好なものになるにつれ、コミュニティで変化を起こしやすくなります。

家族や友達、先生やコミュニティのリーダーまで、すでに私たちは自分が思っている以上に多くの人を知っています。友達の友達を始め、ネットワークを自分の親しい人以外にも広げるとなおさらです。このような人々は私たちが目標を達成するうえで素晴らしい財産となるでしょう。

まだ知り合いになっていない人の中にも目標の達成を手助けしてくれる人がたくさんいます。ソーシャルメディアとインターネットにより、アドボカシー活動にスキルやリソースを提供してくれる可能性のある人々との出会いが広がります。

パート2

教室の前方にあるプロジェクタースクリーンで、あなたや参加者の地域の事情に合った動画の例を見せて、人々がソーシャルネットワークを通じてどのようにつながっているか、このつながりからどのようなメリットを得られるかを紹介します。

以下の質問を投げかけます。

情報は、既存のソーシャルネットワークを通じてどのように効率的に広まるのでしょうか。

これらのつながりを利用してアドボカシー活動を促進するにはどうすればよいのでしょうか。

以下の内容を伝えます。

次のアクティビティでは、自分の関心のある慈善活動について説明する、シェア可能なオンラインリソースを作成します。アドボカシー活動をオンラインでシェアすると、自分の関心事について他の人に知らせることができ、活動を手助けしてくれる人と出会える機会も生まれます。

課題

パート1

以下の内容を伝えます。

自分の関心のあるテーマについて、Googleドキュメント、ソーシャルメディアプラットフォーム、WordPressのブログ、Neocitiesのウェブサイト、Scratchを利用したスライドプレゼンテーションなどのシェア可能なオンラインリソースを作成します。リソースには以下を含めてください。

1. テーマに関する活動とテーマが重要だと思う理由について説明した紹介文
2. そのテーマに的を絞ったウェブサイト(オンライン記事など)のリンク
3. この分野について投稿、ブログ、ツイートしたり、デジタルメディアコンテンツを作成したりした人を3人挙げたリスト(任意: できれば、その3名それぞれにツイートして、あなたの活動や達成したい目標について伝えます)

クラスインタラクション

このアクティビティを行う時間を30分取ります。割り当てられた時間に応じて、現在のグループまたは2つ目のグループで、リソースを他のグループとシェアし、その後15分間、効果的な戦略をテーマにディスカッションしてもらいます。